

WAKKANAI CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY
企業を育て 地域を伸ばす 商工会議所

わかかい

(URL : <http://www.wakkanai-cci.or.jp>)

会議所報

第182号

発行所
稚内商工会議所
稚内中小企業相談所

稚内市中央2-4-8
TEL (0162) 23-4400
FAX (0162) 22-3300
E-mail:wcci@rose.ocn.ne.jp

令和5年8月発行

稚内商工会議所 創立75周年記念

記念講演・祝賀会開催

● 記念講演 ●

稚内商工会議所創立75周年記念講演・祝賀会を令和5年6月10日、サフィールホテル稚内に於いて開催致しました。

記念講演にはご来賓の皆様、官庁関係者、会員事業所の皆様など約150名のご出席を頂き開催致しました。

初めに記念講演では、中田会頭より「当所は昭和23年12月7日に道内15番目の商工会議所として設立。本年度創立75年を迎えました。本日の講師をお願いした北海道開発局石塚局長にはお忙しい中、快くお引き受け頂き感謝と御礼を申し上げます。石塚局長は稚内市のご出身で、



中田会頭より主催者挨拶



北海道開発局石塚局長記念講演

長く北海道の開発行政に携わり、この間、常にふるさとを思い、様々な場面でご指導やご助言を頂いており、これまでの豊富な知見をもとにご講演頂けるものと期待しております」と挨拶。

引き続き、北海道開発局長石塚宗司（いしづかしゅうじ）様より、『北海道開発を巡る最近の話題』と題し、北海道の開拓や開発の歴史、地球温暖化、カーボンニュートラル等の動向の他、前倒しして策定している北海道総合開発計画について、食と観光に加え、脱炭素化の重要性をつけているとお話をされました。

● 記念祝賀会 ●

記念講演終了後、同会場で来賓として武部代議士、工藤市長、吉田道議、記念講演を頂いた北海道開発局石塚局長他多数のご来賓の皆様をはじめ、当所議員、当所青年部・女性の正副を含めた約80名が出席し記念祝賀会を開催。

記念祝賀会で中田会頭は「本年度創立75周年を迎えられましたのも、ひとえに今日の礎を築かれた歴代会頭、役員のご尽力、そして国、道、市をはじめ関係機関の皆様、各地商工会議所、宗谷管内商工会の皆様のご指導、ご鞭撻、そして何より、会員の皆様のご理解とご協力によるものと、深く感謝を申し上げます。長引くコロナ禍においては、経



75周年を記念し鏡開きを実施

営危機に直面する事業者の事業継続支援を最優先とし、役員一同最大の危機感を持って様々な事業を遂行してまいりましたが、今後も地域経済の一日も早い完全復活と、更なる発展を目指し取り組みをさらに加速させて参る所存であります」と挨拶。



親子ユニット「道のり」による琴演奏

引き続き、武部代議士・工藤市長・吉田道議よりご祝辞を頂き、75周年を記念して鏡開き、清水目振興局長の乾杯の発声で祝宴に入りました。祝宴では、アトラクションとして、親子ユニット「道のり」下村道子様、岩野典子様による琴演奏を行うなど盛会に開催され、稚内市議会鈴木議長の方歳三唱で記念祝賀会を閉会致しました。

宗谷商工経済懇談会を開催

第53回宗谷商工経済懇談会は、6月16日サフィールホテル稚内において、来賓に武部代議士(代理寒澤秘書、吉田道議、三好道議、清水目宗谷総合振興局長、工藤稚内市長、小野宗谷町村委会長他)を迎え、来賓、商工会議所、商工会から約80名が出席し開催した。



中田会頭挨拶

開会で中田会頭は「新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」に移行されるなど、コロナ禍で制約されてきた社会・経済活動は正常化に向け、大きな節目を迎えたところです。一方、国内経済の状況は、コロナ禍の影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源価格の高騰、物価上昇や急激な円安、更には慢性的な人手不足などが顕在化しており、この難局を乗り

越える原動力となるのが、生産性の向上やIT実装化・脱炭素・カーボンニュートラルやSDGsなどの取り組みであります。特に、この地域のポテンシャルを考える時「2050年カーボンニュートラル」、「ゼロカーボン北海道」への貢献という点では、経済界として、その実現を目指さなければなりません。当所では、稚内市の目指す「脱炭素先行地域」の選定実現、或いは設立を目指す「新電力会社」北風と太陽エナジー」の電力の地産地消などの取組に、積極的に協力し、連携を図っていく所存です。また、整備が進められていた世界最大級の蓄電池施設や稚内市から中川町までの送電網工事は先月竣工を終え、並行して昨年度から3か年の計画で進められている大規模風車群整備も順調に進んでおります。これら、再生可能エネルギーに係る取組み、また景観そのものを地域資源と捉え、道内外に広く発信することで、視察・研修旅行など新たな切り口での交流人口の取り込みにも期待をしております。地域経済の要となる「観光」では、足元の旅行需要はコロナ禍前にほぼ戻ったとされており、受

入体制としてのキャパシティの減少や慢性的な人手不足は、地域経済の成長抑制となること懸念されます。昨年3月に登録となった、稚内市、利礼3町による「地域連携DMO候補法人」には、この現状を踏まえ、「稼ぐ」観光地の実現に戦略的に取り組んで頂く事を期待するところで、その取り組みが宗谷管内全体に波及することを願っております。また、北海道開発の指針となる「北海道総合開発計画」は、次期の9期計画がまさに今、策定に向けた活発な議論が行われておりますが、我々の「地域の声」が反映されるよう、引き続き様々な機会を通じて要望・陳情を行うと共に、地域内においても、その具現化に向けた機運醸成を図って参ります。懸案であります高規格幹線道路「名寄・稚内間」のミッドシンクリンクの解消、豊富北インターから港湾や空港へのアクセス向上など、災害はもとより観光、物流、医療などあらゆる分野の課題解決、振興発展のためには国土幹線道路ネットワークの一日も早い構築が望まれます。引き続き関係各位に格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶。

引き続き来賓の挨拶後、議事に入り今村副会長、小神商工会連合会副会長(利尻富士町商工会長)を議長として議事を進行し、当所からは特別提案1案件を含む18案件を富田政策運営委員長から提案。商工会議所・商工会併せ、54案件が満場一致を以って決議した。

その後要望会では中田会頭、中村商工会連合会長(浜頓別町商工会長)が、武部代議士(代理)、吉田道議、三好道議、佐々木開建部長、清水目振興局長、山崎宗谷教育局長に要望書を手交し、各氏より所見を頂いた。結びに、閉会挨拶を中村商工会連合会長が述べ終了した。



富田政策運営委員長提案説明

- 道路整備の計画的な推進、地域の実情に応じた道路維持管理の実施及び道路予算の確保について
- 地域経済再生に向けた国の財政政策の促進について
- 北海道総合開発計画の促進について
- 国道40号の規格の高い道路と北海道縦貫自動車道の整備促進について
- 国道238号の安全安心な交通機能の確保のための整備促進について
- 国道275号の災害時に対応した整備促進について
- 国道40号の無電柱化の整備促進について
- 国道238号の自転車通行空間の整備促進について
- 稚内港の港湾整備の促進について
- 稚内の漁港の整備促進について
- 稚内空港の冬期間就航率向上について
- 稚内空港の利用促進について
- 国営総合農地防災事業「勇知地区」の整備促進について
- J R 宗谷本線(名寄・稚内間)の路線維持と安定運行の促進について
- 主要道道稚内天塩線の無電柱化の促進について
- クサンル川総合流域防災事業の早期完了について

◎当所からの提案案件
【特別提案1案件】
 ・新型コロナウイルス感染症及び物価高騰等に係る経済対策について

【継続17案件】
 ・国土強靱化の着実な促進について

道央・中央へ要望活動を実施 ＝社会資本の整備促進を＝

6月16日に開催した第53回宗谷商工経済懇談会の決議に係る道央（札幌市）要望を7月10日に、中央（東京都）要望を11日に行い、特別提案1件、新規3件を含む54案件、当所からは18件の要望を行った。当所からは、中田会頭、今村副会頭、中場副会頭、石塚副会頭、達専務理事、宗谷管内商工会連合会からは、中村会長（浜頓別会長）、小神副会長（利尻富士会長）と要望活動を実施。

要望先は札幌が北海道開発局、北海道経済産業局、全日空札幌支店に行い、東京では武部代議士、財務省、国土交通省各局にそれぞれ社会資本整備他を要望。

10日の北海道開発局への要望では、「宗谷管内は食糧基地・観光・再生可能エネルギーなど、ポテンシャルがそろった地域としてロシアと対峙している課題もあり、人が住み続けるための政策が必要で、競争力強化のため高規格道路の整備促進や港湾空港を含む社会資本整備が不可欠である」とし、柿崎開発局長から「宗谷は酪農や漁業の一大生産空間として貢献しており、ホタテや生乳は全国有数の生産空間を形成し国に貢献している。社会資本整備を進めるためには、予算確保が必要で、地域



国土交通省北海道局 橋本局長へ要望

が必要性を訴えることが重要であり、民間団体が要望活動を行うことは大事である」とされた。

11日、東京・国交省北海道局には、「宗谷管内は食糧基地・観光・再生可能エネルギーなど、現在策定中の第9期北海道総合計画に沿った全てのポテンシャルがそろった地域で、一方、国境隣接地域としてロシアと対峙している課題もあり、人が住み続けるための政策が必要で、道路・港湾・空港等の社会資本整備が必要」とし、橋本局長からは「社会資本整備は人口密集地域から進んでいく傾向があるので、必要な社会資本整備の予算確保について、宗谷の強みを示し、声を上げることが重要である。音威子府バイパスが令和7年度に開通する、その機会に豊富北から稚内の高規格道路について検討したい」とされた。

第71回全道商工会議所大会 苫小牧市で開催

6月30日～7月1日、全道商工会議所大会が苫小牧市にて開催されました。本大会は全道の役員・議員が一堂に会し、地域が抱える様々な諸課題について決議し、要望する事を趣旨に例年開催しており、当所より中田会頭、中場副会頭、石塚副会頭、達専務理事、土門常務理事と事務局1名の6名が参加。

大会では、大会長の北海道商工会議所連合会岩田会頭の挨拶、開催地の苫小牧商工会議所宮本会頭の挨拶の後、来賓を代表して北海道経済産業局岩永局長、北海道議会富原議長、苫小牧市岩倉市長、日本商工会議所石田専務理事より挨拶がありました。

- その後、議事に入り、全道各地から提案された多くの要望案件を特別案件を含めた15の議案に取り纏め審議され、満場一致をもって決議されました。
- 当所から提出した案件は次のとおりです。
1. 国道40号の規格の高い道路と北海道縦貫自動車道の整備促進について
2. 国道238号の安全安心な交通機能の確保のための整備促進について
3. 国道275号の災害時に対応した整備促進について
4. 国道40号の無電柱化の整備促進について
5. 国道238号の自転車通行空間の整備促進について
6. 稚内港の港湾整備の促進について
7. 稚内の漁港整備の促進について
8. 稚内空港の冬期間就航率向上について
9. 国営総合農地防災事業「勇知地区」の整備促進について
10. 稚内空港の利用促進について
11. JR宗谷本線（名寄～稚内間）の路線維持と安定運行の促進について
12. クサンル川総合流域防災事業の早期完了について
13. 外国船籍の「船舶観光上陸許可制度」適用範囲の拡大について
14. 主要道道稚内天塩線の無電柱化の促進について



中田会頭より提案説明

新会員紹介 新しく次の事業所の方にご入会頂きました

敬称略

事業所名	業種	代表者名(住所)
hair salon am(ヘアサロン アム)	サービス業(美容室)	堀内 はるか (宝来5-7-15)
BAR 白夜	サービス業(バー)	村井 圭太 (大黒2-7-38 ソシアルビル1F)
合同会社樋口商会	サービス業(農業用重機、オペレーター)	樋口 信也 (栄1-29-9)
吉田住設	建設業(設備)	吉田 修一 (緑5-15-6)

～ご入会ありがとうございます～

IoT等導入促進支援事業助成金 【随時受付】※ただし、予算の範囲内とします

目的

国においてはSociety5.0社会の実現に向け、IoTやAI、ロボットの活用による生産性の向上を目指し、様々な支援が広がっているところである。本市においても人口減少・従業員不足への対応として、少ない労働力でもより生産性を向上させるために導入するIoT活用やロボット導入、キャッシュレスを活用するためのシステム導入等に対する支援を行う。



対象者

対象経費

補助率

【IoT活用事業】

中小企業者

IoTを導入し、そこから収集される情報を活用して、監視、保守、制御又は分析を行う際の機械装置・ソフトウェアに係る購入費及びリース料、外部専門家経費など

2/3

※上限額 30万円
※年間1回まで
※リース料は最大6カ月分

【ロボット導入事業】

中小企業者

従業員の業務負担等を軽減するため、産業用ロボット、サービスロボット等を購入して行う生産性向上に資する事業を行う際のロボット購入費及びリース料、電気等工事費など

【キャッシュレス決済導入事業】

新設 中小企業者

キャッシュレス決済を導入する際に要する端末本体、回線工事費、付属機器類などの初期費用や利用料、手数料など

2/3

※上限額 10万円

※その他詳細は交付要綱参照。 ※助成期間は、令和7年度までです。

販路拡大支援事業助成金 【随時受付】※ただし、予算の範囲内とします

目的

稚内産商品（※1）のPR活動や、稚内の地域資源を活用した商品開発など、市外からの資金流入を目指した各企業の活発な事業活動を促進するため、展示会等の出展料やパッケージ外注費等の経費に対し支援を行い、経営の革新や地域経済の活性化、地元資源の利用促進に繋げる。

※1）稚内産の原材料、または、市内の事業所で製造され、「稚内」の文字がパッケージに印字されているなど、稚内のPRに一定程度効果が認められる商品。

対象者

対象経費

補助率

【特定展示会等出展事業】

中小企業者等

展示会等の出展小間料、備品借用費、旅費等
※本市が参加する市外物産展等へ同行し、稚内産商品のPRを行う場合に限り、販売を目的としたものも可。

1/2

※上限額 30万円(道外のみ40万円)
※年間1回まで
ただし、市が参加する市外物産展等へ同行する場合は回数に算定しない

【新商品開発等事業】

中小企業者等

販路拡大に向けた新商品開発やパッケージ改良に伴うデザイン外注費、市場調査料など
※同一商品に対する助成は一生涯に一度のみ

1/2

※上限額 30万円
※年間1回まで

【ホームページ制作等事業】

中小企業者

企業PR等のため、自社ホームページの新規の制作又は外国語対応に伴う外部委託費など
※新規制作1回、外国語対応1回まで(同一年度を除く)
※創業して1年以上経過していること

1/2

※上限額 30万円
※年間1回まで

※「特定展示会等出展事業」及び「新商品開発等事業」は「稚内産商品」の販路拡大が目的でなければ対象とならない。
※その他詳細は交付要綱参照。助成期間は、令和7年度までです。

お問合せ先

■稚内市建設産業部水産商工課 商工・労働グループ(市役所2階)
☎ 0162-23-6467 FAX 0162-23-7999

■稚内中小企業相談所
☎ 0162-23-4400

URL https://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/sangyo/shoko/shien/yushi_zyosei.html



がん負けずに、
人生を歩むために。



経営者ご自身と 会社を守るがん保険

アクサの
治療保障の
がん保険 **マイセラピー**

ガン治療保険(無解約払いもどし金型)

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
旭川支社 旭川営業所稚内分室
〒097-0016 北海道稚内市萩見5丁目23-11
TEL0162-34-5570

●お引受けには所定の条件があります。本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要;注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」と「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
AXA-A1-1903-0522/9F7

相談所だより
がんばる経営応援します!!